平成30年度（2018年度）千葉大学文学部
3年次編入学学生募集要項

文学部の求める入学者

文学部では，人間という計りきれない存在を，行動，社会，歴史，言語，文化，芸術などの諸側面について様々な視点や方法を用いて学問的に追及し探ることで，自己を知り，世界を知り，自己と世界の関係について学び，自分の生きていく方向や自分を託す世界の進み方，自己と世界との関係の作り方を模索することを目標としています。（文学部入学者受入れの方針より抜粋）

※「文学部入学者受入れの方針」の全文は次のＵＲＬに掲載されております。
http://www.chiba-u.ac.jp/exam/gakubu/adpolicy.html

１．募集人員

コース名	募集人員
行動科学コース	１０名
歴史学コース	
日本・ユーラシア文化コース	
国際言語文化学コース	

２．出願資格

次のいずれかに該当する者（外国の大学等は，対象となりません。）

⑴ 大学，短期大学または高等専門学校を卒業した者及び平成30年３月卒業見込みの者

⑵ 大学に２年以上在学し，62単位以上の単位を修得した者及び平成30年３月までに同要件を満たす見込の者

〔注〕上記見込みの者は，平成30年３月14日，15日の入学手続き時に卒業証明書または成績証明書を提出してください。

３．出願期間

平成29年10月２日（月）から10月４日（水）17時まで

４．出願手続

出願者は，次の出願書類等を取り揃え，封筒の表面に「文学部３年次編入学願書在中」と朱書し，10月４日（水）17 時までに必着の「簡易書留郵便」で郵送してください。

郵送するに当たっては，配達に要する日数に十分注意してください。

⑴ 出願に必要な書類

出願書類等		備考
①	志願票及び受験票・写真票	本要項に綴じ込んである本学部所定の用紙を使用し，出願３か月以内に撮影した上半身，正面，脱帽の写真を所定の欄に貼付してください。
②	成績証明書	出身校所定の用紙により出身大学（学部）長が作成したもの。 なお，出願資格⑵に該当する者で出願時に同要件（62単位以上の単位を修得）を満たしていない者は，単位修得見込証明書（様式任意）を合わせて提出してください。
③	卒業(見込)証明書または在学証明書	出身校所定の用紙により出身大学（学部）長が作成したもの。
④	出願理由書	編入学を希望する理由，本学で勉強したいこと等を書いた出願理由書を作成してください（1,200字程度。Ａ４判原稿用紙またはＡ４判用紙ワープロ打ち（パソコンによる入力）も可。縦書き・横書きは自由）。
⑤	論文（歴史学コース及び国際言語文化学コースの志願者のみ提出）	出願の際に，歴史学コースの志願者は歴史に関する任意のテーマで書かれた400字30枚程度の論文，国際言語文化学コースの志願者は，国際言語文化に関する任意のテーマで書かれた400字30枚程度の論文（両コースともＡ４判原稿用紙，またはＡ４判用紙ワープロ打ち（パソコンによる入力）も可。書式自由。ただし，引用文献・引用資料等は，注番号をつけて末尾に一括して注記すること。）を提出してください。

⑥	検　定　料	入学志願者は出願前に最寄りの銀行等（**ゆうちょ銀行は除く**）に行き，本募集要項の所定用紙（検定料振込用紙）を使い，検定料30,000円を**必ず窓口**（自動振込機使用不可）で振り込んでください。振込方法は電信扱い，振込手数料は本人負担となります。 入学志願票の裏に検定料の**振込証明書「貼付用（大学提出用）」を貼ってください。**なお，「貼付用(大学提出用)」に**取扱金融機関出納印がないものは無効**となりますので，金融機関で受領した際に必ず確認してください。 **○納入された検定料は，原則返還しません。但し，検定料を誤って振込み，出願しなかった者が所定の返還手続を行った場合は，全額返還します。手続期限は，平成30年３月30日です。** ○返還の手続の詳細については，学務グループに確認してください。
⑦	返信用封筒（受験票送付用）	本学部所定の封筒に，郵便番号，住所，氏名を明記し，392円分の郵便切手（簡易書留料金を含みます。）を貼ってください。
⑧	住所シール	入学手続き関係書類等の送付に使用しますので，志願者の郵便番号・住所・氏名を記入してください。

〔注〕外国人については，住民票の写し（個人番号（マイナンバー）が記載されていないもの）を提出してください。住民登録していない場合は，パスポートの写しを提出してください。

⑵　出願書類提出上の注意

①　提出書類に記載事項の記入もれ，その他不備のある場合は，出願書類は受理しません。

②　出願書類受付後は，出願事項の変更は認めません。

③　受理した出願書類は，いかなる理由があっても返却しません。

④　志願票等に虚偽の記載をした者は，入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

⑶　出願書類の郵送先：〒263-8522　千葉市稲毛区弥生町１番33号

千葉大学人文社会科学系事務部学部学務グループ

5．選抜方法

入学者の選抜は，出願書類，筆記試験及び口述試験（面接）の結果を総合して合格者を決定します。

⑴　選抜試験日　**平成29年10月21日（土）**

⑵　選抜試験科目及び試験時間割等

コース	試験科目	試験時間割	場所
行動科学コース	筆記試験（専門）	10：00～12：00	千葉大学 文学部
	口述試験（面接）	13：00～	
歴史学コース	口述試験（面接）	13：00～	
日本･ユーラシア文化コース	筆記試験（専門）	10：00～12：00	
	口述試験（面接）	13：00～	
国際言語文化学コース	口述試験（面接）	13：00～	

①　試験内容

試験は志望コース別に行います。

・筆記試験(専門)　：論述形式

〔基礎的学力・専門知識(必要な外国語を含む)・論理的思考を判定します。〕

・口述試験(面接)　：専門的な知識を総合的に試問します。

②　試験場の詳細は，試験前日に文学部掲示板に掲示します。

6．合格者の発表

入学者選抜の結果，合格した者は12月15日（金）14時に文学部掲示板に掲示（12月19日（火）17時まで）し，同日付けで「合格通知書」を住所シールに記載した受信場所あてに簡易書留郵便で送付します。

電話による問合せには応じません。

7．身体等に障がいのある入学志願者の事前相談

本学に出願を希望する者で，身体等に障がいがあり，受験上又は修学上，特別な配慮を必要とするものは，出願に先立ち，次により本学部に事前相談の申請を行ってください。

⑴ 事前相談の締切日：平成29年９月15日（金）

⑵ 提出書類：① 事前相談申請書(用紙は人文社会科学系事務部学部学務グループに請求してください)
② 障がいの種類及び必要とする具体的な措置等を記載した医師の診断書

⑶ 事前相談の方法：事前相談申請書に基づき，本学関係者で検討します。必要がある場合，本人，保護者または出身校関係者に照会することがありますので留意してください。

⑷ 事前相談申請書用紙の請求先及び書類提出先：千葉大学人文社会科学系事務部学部学務グループ
〒263-8522　千葉市稲毛区弥生町１番33号　　電話　043－290－3631

8．入学手続

合格者には平成30年２月上旬頃，入学手続きに必要な書類を送付しますので，次の期間に所定の手続きを行ってください。

手続期間　　平成30年３月14日（水），15日（木）
場　　所　　千葉大学文学部
〔注〕入学手続の際には，本試験の受験票の提示を求めます。

9．入学手続の際に納入する経費

入学手続の際には，次の経費が必要です。

入 学 料	学生保健互助会費	学生教育研究災害傷害保険料 (学研災付帯賠償責任保険含む)	合　計
282,000円	２年分 4,000円	２年分 2,430円	288,430円

⑴ 入学料の納入については，入学手続時に納入願います。

⑵ 授業料の納入については，入学後の前期分授業料は５月に，後期分授業料は10月に口座引落により納入願います。口座引落手続等についての詳細は入学手続の際に改めてお知らせします。
なお，前期分・後期分授業料はそれぞれ267,900円（年額535,800円）です。
また，入学して２年目から，前期分授業料は４月が口座引落の月となります。

⑶ 入学料及び授業料等の改定が行われた場合には，改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。

⑷ 入学料及び授業料が免除される制度があります。
詳細は，千葉大学ホームページ
http://www.chiba-u.ac.jp/campus-life/payment/exemption.htmlをご覧ください。
入学料及び受験料免除に関する問合せ先
学務部学生支援課　電話　０４３－２９０－２１７８

⑸ 学生保健互助会費（疾病負傷の際に相互に救済し，進んで健康保持に寄与することを目的としております。）及び学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料（正課中，学校行事中，課外活動中，通学中における傷害事故に対して補償するものです。また，他人にケガをさせたり，他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には，改定時から新保険料が適用されます。）は，３月30日（金）までに郵便局又はゆうちょ銀行で払い込んでください。
詳細は，学務部学生支援課へ問合せてください。
電話０４３－２９０－２２２０(学生保健互助会)
電話０４３－２９０－２１６２(学生教育研究災害傷害保険)

⑹ 納入した入学料は，いかなる理由があっても返還しません。

⑺ 入学手続完了者が３月31日(土)17時までに入学を辞退した場合には,申し出により既に納入済の学生保健互助会費及び学生教育研究災害傷害保険料を返還します。

10. 入学後の履修について

⑴ 編入学時に本人の申請に基づき，出身学校で修得した単位の全部あるいは一部が，本学における授業科目の履修により修得した単位として認定されることがあります。（上限　60単位）

⑵ ２年以上の在学で修得単位数を満たせば卒業することができ，学士（文学）の学位を修得することができます。

11. 受験に関する注意

⑴ 受験に関する注意事項は，10月20日（金）９時に文学部掲示板に掲示しますので試験当日までに必ず見てください。

⑵ 試験室には必ず受験票を携帯し，係員の指示に従い所定の場所に置いてください（受験票は入学手続の際にも必要ですから，大切に保管してください）。

⑶ 宿泊場所等の斡旋はできませんので，各自で手配してください。

⑷ 入学者選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施のほか，管理運営業務，修学指導業務，入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

⑸ その他受験に関する照会は，文学部学務グループへ問い合わせてください。

⑹ 千葉大学文学部への道順

・ＪＲ総武線「西千葉」駅下車，北口から徒歩で文学部棟まで約10分です。

・京成千葉線「みどり台」駅下車，徒歩で文学部棟まで約10分です。

平成29年（2017年）７月

千葉大学人文社会科学系事務部学部学務グループ
〒263-8522　千葉市稲毛区弥生町１番33号
電話　０４３－２９０－３６３１

コ　ー　ス　案　内

〔行動科学コース〕

行動科学コースは，人間とその行動の多様な側面について，総合的かつ学際的な教育・研究を行うコースです。人間の意識や心の働き，人間の知的機能や人間の持つ生物としての特性，人間が作り上げた社会や文化など，多様な視点から人間の行動にアプローチします。１年次には，少人数制の「人文科学入門」や各専修が用意する共通基礎科目を履修し，分野を超えた幅広い基礎知識を習得します。２年次からは哲学，認知情報科学，心理学，社会学，文化人類学のいずれかの専修に所属し，専門的な教育を受けることになります。

哲学専修では，人間の知識や行為の基礎を明らかにします。また，科学論，応用倫理，言語哲学などの分野にも力点をおいています。認知情報科学専修では，人間や動物の知覚・認知行動や計算機における知識情報処理について，実験的・数理的に研究します。心理学専修では，人間行動の基礎としての認知過程やパーソナリティの解明，そして人間の社会的行動の理解を目指し，実験法，検査法，調査法，および計量的手法の習得に重点をおきます。社会学専修では，現代における家族，地域･都市，産業･労働，コミュニケーション，社会構造を対象とした実証的研究と理論的考察を行います。文化人類学専修では，人類の文化的多様性を手がかりに，家族，共同体，政治，宗教，エスニシティ，性，近代化過程などに関する理解を深めます。

各専修の主な授業科目は以下のとおりです。

哲学専修：現代哲学，倫理学，科学基礎論，科学史，東洋哲学概説など。
認知情報科学専修：認知行動基礎論，言語情報処理論，データ解析基礎論，比較認知論，知的情報処理論など。
心理学専修：高次認知論，人格心理学，知覚心理学，認知心理学，社会心理学など。
社会学専修：地域社会学，コミュニケーション社会学，産業社会学，ジェンダーの社会学など。
文化人類学専修：医療人類学，ジェンダーの人類学，生態人類学など。

〔歴史学コース〕

歴史学コースでは，これまで，日本史，東洋史，西洋史という枠組みにとらわれずに，世界史的観点に立って歴史学を研究・教育することを特徴としてきました。また，これに加えて，「もの」「かたち」「文字」という三つの文化伝達要素にそくして歴史学を考えるための新しい分野も，従来の歴史と並べて展開します。「もの」に関係する授業科目としては，文化財学，考古学，美術史，宗教文化史などがあり，人類が作り出した物質や道具の歴史を通して歴史を考えます。「かたち」に関係する授業科目としては，図像情報史学，図像解釈学，記録史料学などがあり，人類の歴史を文献のみならず，図像，イメージ，音声，画像などの史料を駆使して考えます。「文字」に関する歴史学についても，日本史，アジア史，ヨーロッパ史，文書学といった旧来の歴史学の分野に加えて，国際社会史，歴史社会学，思想史，文化史といった分野，あるいはアフリカ史，イスラーム地域史といった領域を新設し，人類の歴史を広く国際的な視野から，また人々の生活や社会的関係の面から考える体制をとっています。学生のみなさんは，歴史学入門という小人数ゼミにおいて高等学校までの歴史の勉強とは違う歴史学の世界に導かれ，史学方法論で新たな歴史学の方法を学び，各種概説を受講し，種々の方法的訓練を受けた後，多様な専門科目を自由に履修することができます。歴史学コースには，専修コースのような枠がないので，学生諸君は，自己の関心に応じて，さまざまな地域的歴史を，多彩な文化伝達要素にそくして研究することができます。また，博物館・美術館の学芸員，文書館のアーキビストなどの養成にも努めています。

〔日本・ユーラシア文化コース〕

日本・ユーラシア文化コースは，日本の言語・文学・思想・民俗・芸能などの諸文化を，多面的な視野から深く掘り下げて考察していくとともに，ユーラシア大陸における諸民族の言語文化を考えることによって，世界における日本文化を相対的により深く研究し，把握することを基本理念としています。

本コースは，日本言語文化論，ユーラシア言語文化論の２つの専修によって構成されていますが，学生は，いずれか１つの専修に所属するのではなく，すべての分野の授業を横断的に履修することによって複眼的な視野を養い，日本文化を総体として把握する方法を学びます。

卒業論文は必修で，それぞれの学生がもっとも興味を持っている分野について，徹底的に調査し，考えぬいて論文を作成します。そうした学生の研究をバックアップするために，3年次後期には卒業論文導入演習，4年次には卒業論文特別演習が設置されているほか，おもに2，3年次の学生を対象とした，さまざまな演習科目を受講することで，自ら調べ考えるという訓練を行っています。受け身で勉強しようという学生には向かないコースだといえるかもしれません。もちろん，講義科目も充実しており，それぞれの教員の専門分野の講義を受けることで，最先端の知識を得ることもできます。

また，日本・ユーラシア文化コースの専門科目だけではなく，他コース（行動科学・歴史学・国際言語文化学）の講義や演習を履修することも奨励しています。学生に視野を広げてほしいと考えているからです。

〔国際言語文化学コース〕

国際言語文化学コースは，国際化と多様化の時代に対応して，文化の国際的関連性や，言語・文学・文化の多様なあり方や構造について，幅広い研究・教育を行います。本コースにおいては，外国語教育が重視されます。そして，学生はその関心に応じて，次の４種の専修，すなわち「比較文化論」（比較文化，比較文学，イメージ文化論，宗教文化論，国際日本研究，古典学），「ヨーロッパ文化論」（ヨーロッパ地域研究：フランス，ドイツ，スペイン，ロシア，文学理論），「英語圏文化論」（英語圏文化論，イギリス文化論，アメリカ文化論），「言語構造論」（言語理論，言語コミュニケーション論，歴史言語学）の中から自由に選択して研究できるようになっています。

「比較文化論」専修は，諸種の文化的営為を国際的な比較の観点から考察します。

「ヨーロッパ文化論」専修は，英語圏以外の諸言語を巡る文化に焦点をあてながら，広い視野に立って研究します。文学理論に関する研究もここに含まれます。

「英語圏文化論」専修は，イギリス・アメリカを中心とする広い範囲の英語圏を巡る文化に焦点をあてつつ，さらに広い視野に立って研究します。

「言語構造論」専修は言語理論・言語コミュニケーション論・歴史言語学に関する研究をします。

本コースの学問領域と開講される授業科目は，大きなバラエティーがあり，多様な学習が可能となるよう工夫されていますが，本コースでは，学生が自主的な選択によって国際社会での活躍のために必要な知識と語学力を身につけることを重視しています。